

U 芝田信正 49.3.8

今期高45分

(1) エネルギー見通しと原子力 70% 輸入

✓ 現状: 石油換算3億kLのエネルギー消費、5000万kWの電力、
GDP 65年非の日本経済を支える。甲

過去10年は経済成長率GDP 11% エネルギーの13%で7年保
たも1.18~1.13であった。電力、12.5%位。

予測 非常にあつた。

GDP 6%位。電力も10%^{の位}位。従来のように実績が
予測を上回るというにはつづかないかもしれない。電力の7年保は
大きい。

GDP → エネルギー → 電力 (7年保位) つまあげに
過去の経験。

民生部内9の50

需要今8% 10%位。CO-2の削減が大きい。
GDP 8.2%~8.6(49~50年) 7.9~8.3%(60年まで)

1957年 LWH 13%
15.7%

とある

原子力発電の要は設備投資で、空海内航と公害を減らすことが

OPEDの（とくに）SO₂内航 2000年12月まで

原油生油

＋27 ｔ

LNG

重油・10月 重油の5%

排気

400H 20~30年

価格を上げる

備考

SO₂の基準 50ppm 以下に抑える。

1985-86 (東京・11月・12月・1986年)

↓

2000年

0.009ppm

1%以下

1985年12月の24時間平均値は0.1ppm以下に抑える。

↓

0.05ppm 以下に抑える。

5%以下

2000年12月まで

せいぜい1億トン～1.3億トン以下に抑える。

2

0.

(2) 日本原子力発電の歴史と将来

US 世界戦略
に变化?

昭和29年に原子力発電。その前年12月アインシュタイン

昭和31年 原子力発電所建設。昭和32年 原子力発電所建設

5月 ヒートン 事件。11月 停電。
12月 6月 エジプトのスエズ運河に有化宣言を自

8月 電力危機。10月 石油危機の発生

10月 石油危機の発生

41年7月 石油。32年 アラビア石油
バレーの 夢 → フォーカス 事件。12月 (1982)
JPCR 38年 10月 発生。33.2 全米不足

32年 10月 110万kw 1965年 60万kw 75年 1700万kw
12月 40万kw 12月 50万kw

33年 5月

エネファースト 石油へ

1960年 9月 OPEC 石油

36年 12月 110万kw 1970年 100万kw 80年 700~900万kw

2月 Slow down → moving target
(1982年 9月)

41年 12月 110万kw 1985年 4000万kw 2000年 1億6000万kw
46年 1980年 3200万kw 1985年 6000万kw 90年 1億

世界の電力増産

1957

運転中 26505kw

建設中 1億90005kw } 1億960005kw

アメリカ	66年	16365kw	増設量
	67	2600 "	
	68	1395 "	
	69	725 "	
	70	1425 "	
	71	2081 "	

日本 11 億 5 千万

(2)(つづき)

船

数量以外のものは

製鉄

化学

脱塩

内外航の piece - 15

おまけ
は

55年
3000万回
5000万回

(6.3億回
~ 6.8億回)

65年
1億1000万回
2億回

(10.9億回
~ 12.8億回)

75年
2.2億回
4.5億回

(15.4億回
~ 18.0億回)

MARUZEN

(3) 問題点

ウラン濃縮 日本が必要
NUS のため

好例用弁 = 同業事業
ウラン資源

→ ウラン生産国へ
→ 備蓄
→ 廃棄

(4) 要旨

2) EU・対欧協定
国際手帳への対応

1) 原子力の位置づけの見直し

3) 資源

4) 3畜産

5) 国際関係

NPT